

EVENTS

KWANSEI GAKUIN SENIOR HIGH SCHOOL

要予約

オープンハイスクール

日程によって実施内容は異なります。詳細は本校ホームページへ。

2026年 **7/11** (土)・**9/12** (土)・**11/14** (土)

8/29 (土) クラブ体験会 **11/14** (土) KGイベント

◎申込み方法 (※要事前申込み)

本校ホームページより「**入試情報**」へアクセスしてお申し込みください。

<https://sh.kwansei.ac.jp/os>



申込みはこちら

予約不要

文化祭

2026年 **11/3** (火・祝) 予約は不要です。時間等の詳細は本校ホームページをご覧ください。

※ 要予約イベントに関しましては、順次、本校ホームページにて申込受付を開始します。

※ 状況に応じて開催を延期・中止させていただく場合があります。最新の情報を本校ホームページにてご確認ください。

※ ご来校の際には公共交通機関をご利用ください。

※ KGイベントでは例年、第一部に学校・入試説明、第二部では各クラブや生徒による発表等を行っています。

ACCESS

[大阪・神戸から最寄り駅まで]

▶ 大阪より

阪急電鉄 ▶ 大阪梅田 15分 西宮北口 4分 甲東園
神戸線 (特急停車) 今津線

JR ▶ 大阪 12分 西宮
神戸線 (快速停車)

▶ 神戸より

阪急電鉄 ▶ 神戸三宮 15分 西宮北口 4分 甲東園
神戸線 (特急停車) 今津線

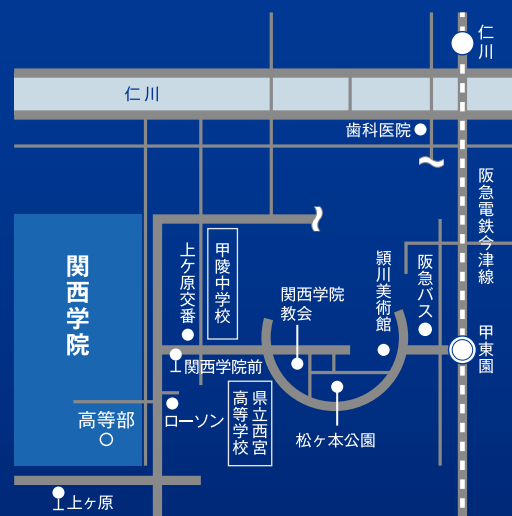
JR ▶ 三ノ宮 14分 西宮
神戸線 (快速停車)

[最寄駅からの所要時間]

阪急電鉄 ▶ 甲東園 バス5分 関西学院前
徒歩15分

阪急電鉄 ▶ 仁川 徒歩15分

JR ▶ 西宮 バス20分 上ヶ原



関西学院高等部

KWANSEI GAKUIN SENIOR HIGH SCHOOL

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

TEL: 0798-51-0975

<https://sh.kwansei.ac.jp/>



〈公式ホームページ〉



〈公式Instagram〉



〈特設サイト〉

KWANSEI GAKUIN SENIOR HIGH SCHOOL



一生モノの「自由」を身につけよう。



関西学院高等部

— 学校案内 2027 —



MASTERY FOR SERVICE

一生モノの「自由」を
身につけよう。

関西学院中学部 高等部で学ぶことで
好きなことで社会とつながり続けられる
「自由」をつかいこなす人になる。

そのために
関西学院中学部 高等部では
「自由」の使い方、使いみちを学び、身につけます。

「自由」の使い方を身につけるために
中学部では、
自分を知り、社会を知る。
そのための学び、部活やキャンプなど課外活動もしっかりと。

高等部では、
引き続き学び、部活や課外活動に加えて
自由に課題を選び、好きなことで社会とつながるチャレンジを。

「自由」の使いみちを示してくれるのが
関西学院のスクールモットーである Mastery for Service
奉仕のための練達。

社会の役に立つために、自由に選んだ、好きなことを磨いていく。
そしてキリスト教主義教育を通じて
「自由」を他者のためにつかうことを学びます。

変わり続ける社会で、きっと好きなことも役立ち方も変わっていく。
でも、一度身につけた「自由」は
あなたが好きなことで社会とつながり続けるチカラになる。

一生モノの「自由」を身につけよう。

関西学院中学部
関西学院高等部

One Journey, Seven Years And Beyond

未来に続く関西学院高等部の学び

関西学院高等部

未来を見据え、自らを磨く

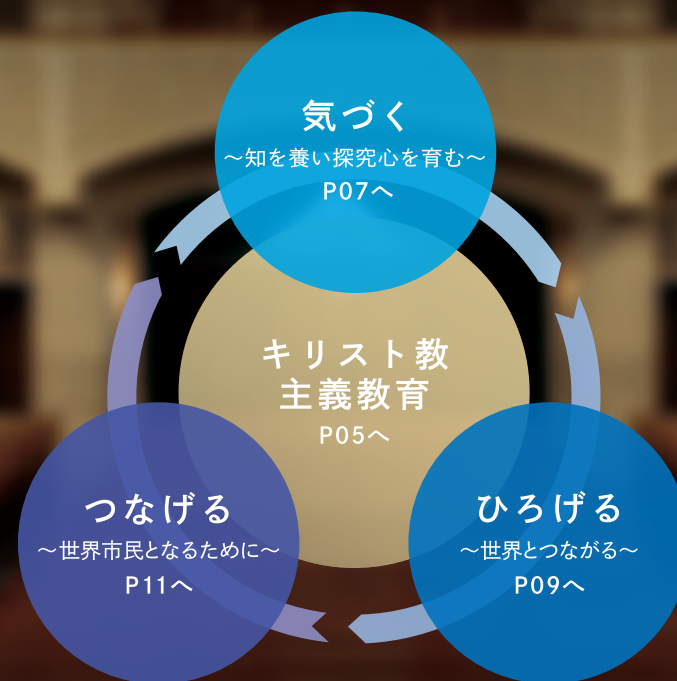
条件を満たせば全ての生徒が
関西学院大学に進学できます
詳細は P.25 へ

関西学院大学

見つけた興味関心を未来につなげる

未来

Mastery for Serviceを体現する世界市民へ



自分の興味関心を見つけ、「探究心」を深めていく

文理の隔たりがない学びを通じ、知識・見聞をひろげながら未来に通じる基礎学力を身につけます。また、「問い」を立てることをすべての科目で意識します。周知の事実果たして真実なのでしょうか。生徒は「自分は、他者は、どう考えるのか」を追究する中で視野を広げ、自らの興味関心の発見につなげます。2,3年生で展開される探究型科目・選択科目では、見つけた自分の興味関心を仲間、先生、大学や外部の専門家とともに深めていきます。



14の学部が専門性を切り拓く学びを後押し

神学部	文学部	社会学部
法学部	経済学部	商学部
人間福祉学部	国際学部	教育学部
総合政策学部	理学部	工学部
生命環境学部	建築学部	

Photo credit to Sasaki Associates, Inc.

世界で活躍する卒業生のインタビューはP.20へ



「なぜ」を通じ、どう生きるかを学び、 隣人・社会・世界に仕える人となることを目指す



礼拝

週に2回、聖書からのメッセージを聞き、静かに自分を見つめます。大きな賛美の声が高等部の特徴です。喜びの時だけでなく、悲しみの時にも「あえて」賛美することから神様が支え、手を差し伸べてくださっているという導きに気づきます。



聖書科の授業

なぜ私たちは生まれたのか。なぜ世界は問題に満ちているのか。聖書を題材にしながらそんな正解なき問いを深め、考える力を養います。この学びは人としての生き方を深くみつめるとともに、他者と協調する心や主体的・論理的に考える力を育てる、「生きる力」の基盤となる大切な学びです。



宗教週間の特別礼拝(宗教運動)

牧師による聖書のメッセージや、クリスチャンワーカー(キリスト教の立場で社会のために奉仕されている方)によるメッセージをききます。近年は、「核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)」でノーベル平和賞を受賞されたサーロー節子氏に来ていただきました。



キリスト教音楽コンサート

日本や世界で活躍されているクリスチャンシンガーをお招きして、キリスト教音楽コンサートを行います。音響機材を入れて、礼拝堂を本格的なコンサート会場にします。近年は、レーナマリア、井草聖二、サルーキ=、MIGIWA、ナイトdeライトといった方々に来ていただきました。

Key Point

人権教育

本校では、かねてより人権教育を重んじてきました。スクールモットーである“Mastery for Service”の体現を目的とし、人権を守り抜くために必要な価値観や姿勢を育むことを目指します。



人権プログラム

身近な生活の中の人権侵害や多様性(障がい、ジェンダー、セクシュアリティ)、社会的不公平(差別、格差)などをテーマに、学年ごとさまざまな人権プログラムを実施しています。教科教育やホームルーム活動とも連携し、他者を受け入れる柔軟で幅広い人間観を身につけるとともに、無意識に行われる差別を知り、自らのあり方を考えます。当事者のお話を伺ったり、仲間とともに意見を分かち合ったりする中で、「世界市民」へと成長する土台を築きます。

文系・理系にとらわれない多様な学びから「なぜ」を深める



文理の隔たりなく多様な知識に触れ、基礎学力や教養を高めていく過程で学び方を知ります。また、学びの過程に生じる「なぜ」の解決を重ねる経験が主体的に学ぶ姿勢を養い、探究心を育みます。ともに学ぶ仲間がいることも学習の原動力です。グループワークで協力しながら課題に取り組んだり、プレゼンテーションで自らの意見を伝えたり、他者の意見を聞いたりする経験は学ぶ力を高め、興味関心の幅を広げます。キリスト教主義教育の根幹をなす聖書科、卒業論文の作成を通じて自ら問いを立て、調べ、発表する力を養う読書科の授業は3年間を通じて行われます。

<2026年度入学生カリキュラム>

教科	国語	地理 歴史	公民	数学	理科				保健体育		芸術		家庭	情報	外国語	総合的な 探究	宗教	選択		ホーム ルーム	計
科目					物理	化学	生物	地学	体育	保健	音楽	美術			英語	読書	聖書	必修選択	選択		
1年	4		2	5	2	2			2	1	2			2	6	1	1			1	31
2年	文系 (A~G組)	4	4	3				2	2	1		2	2		6	1	1	2		1	31
	理系 (H,I組)	2	2	5	2	4			2	1			2		6	1	1	2		1	31
3年	文系	A~G組	3	○4	○4	3	2		3						5	1	1		8	1	31
		H,I組	2	2	2	4		2	3						5	1	1		8	1	31
	理系 (H,I組)	2	2	6	☆4		☆4	2	3						5	1	1		4	1	31

※2年生理系コースは3年進級時に文系か理系かを再度選択します。※カリキュラムは変更となる場合があります。

○は計4科目から1つ選択、☆はいずれか選択



グループワーク

多くの授業でディスカッションなどのグループワークの機会を設けています。協力しながら課題に取り組む中で、意見交換を通じて多様な考え方や価値観を学びます。時に意見が対立することも経験しながら、互いに納得のいく最適解を探ることで、主体性や協働性、コミュニケーション力を高めていきます。



実験

理科4科目で講義室と実験室をそれぞれ3つ持っています。理系生物では大腸菌遺伝子組換えやPCR法など、大学レベルの実験を行います。また、理系化学では年間30時間を超える実験を設定しており、教科書上の理論を肌で感じることができます。興味関心の扉を開き、深く調べる力と考察する力を養います。



ICTの活用

生徒が持つiPad®は有害サイトやSNSの制限を除き、個人AppleIDの利用やアプリのダウンロードを制限しません。タブレット利用の可能性を除かないことで柔軟な発想力を伸ばし、自律・自制する力を養ってほしいと考えているからです。単に使うだけでなく、タブレットを学びのために活用し、質の高い学びにつなげます。

プレゼンテーション

調べたことや自分の考えをスライド、ポスターといった媒体にまとめ、わかりやすく伝える力を養います。学びの成果を発信することによって、自分の思いの詰まった言葉を効果的なアイコンタクトやジェスチャーも用いて、豊かに表現する力を身につけます。

メンター制度

関西学院大学・大学院の学生が高等部生の学習支援を行う制度です。受講する生徒は、メンター大学生のサポートのもと、学習内容やスケジュールを自分で選択し、個々の課題に合わせたプログラムに取り組みます。学力向上と自立した学習姿勢を培うことを目指します。

身近な社会の「なぜ」から世界へ



高等部で学ぶ英語

高等部の英語教育は「使える英語」を目指した実践的なカリキュラムが特徴です。その中でも3年間を通して英語を母国語とする教員が直接指導する授業を受けることにより、異文化への理解を深め、教科書で学ぶ文法や語彙を生きた英語として実際に使う経験を得ることができます。「読む」「書く」に留まらず、「話す」「聞く」といった総合的なスキルをバランスよく向上させることで、真のコミュニケーション能力を育てます。

オンライン英会話

授業の中にオンライン英会話を導入し、個々の学習目的や要望に応じた、ネイティブスピーカーとの1対1の会話を体験することで、実践的な英語力の向上を目指します。現地に住む講師との対話は文化的な理解も深め、異文化交流の楽しみも体感できます。

校内英語スピーチ大会〈Crescent Cup〉

校内のスピーチコンテストを毎年開催することで、授業外でも英語に触れ、英語を身近に感じ、英語学習を楽しむ機会を提供しています。生徒は英語を母国語とする教員による1対1の指導で練習に励みます。参加をきっかけとして、兵庫県や全国のさまざまなスピーチコンテストにチャレンジできる力も育成します。

留学生受け入れ

アジア諸国や欧米からの留学生を短期・長期で積極的に受け入れています。生徒は留学生との日常的な交流を通じて多様な文化や価値観に触れる機会に恵まれるため、視野が広がり、国際感覚が自然と育れます。互いに刺激を受けながらともに成長できる環境が整っています。



クラブ活動を通じた国際交流

一部のクラブでは、海外提携校等との交流・海外遠征を行っています。試合だけでなく現地コーチの指導を受けたり、部員の家にホームステイをしたりすることで、スポーツを通じた国際交流を体験できます。



フィリピンスタディツアー

夏休みに1週間のスタディツアーをフィリピンのイロイロ市で開催しています。英語を用いて現地の人々やNGOの大学生と交流し、フィリピンが抱える社会課題をリアルに体感しながら解決策を模索する探究型の研修です。



ボストン・ニューヨーク研修旅行

世界のトップスクールを舞台に繰り上げられる実践型アカデミック・プログラムを体験できます。現地学生・研究員の考え方に触れるとともに、文系・理系を問わない“最高峰のリベラルアーツ”を学べる機会を提供します。

留学制度

海外の提携校等を訪問して交流を深める異文化体験のファーストステップとしての研修旅行から、現地での本格的な学びを体験する中期・長期留学まで、内容や期間の異なるさまざまな留学制度を用意しています。

海外英語研修旅行	夏休みを利用した約2週間の研修。海外提携校等での授業参加や、ホームステイなどを行います。毎年20名程度の生徒が参加しています。
中期留学	約3ヶ月間、オセアニア、北米などに留学。休学することなく留学できる制度です。毎年10名程度の生徒が参加しています。
長期留学	約1年間に及ぶ留学。高校を留年(休学)前提で行うもの、留年せずに行うもの2種類の制度があります。毎年数名の生徒が参加しています。

※中期・長期留学は、留学団体を通しての留学となります。

＜海外提携校一覧＞

Brisbane Boys' College(オーストラリア)/Trinity Grammar School(オーストラリア)/Meriden School(オーストラリア)

Kingswood School(イギリス)

＜奨学金＞中期・長期留学、国際交流プログラム参加者を対象とした関西学院高等部バブルマ海外留学支援奨学金制度があります。



世界市民としてふさわしい人間性の幅を広げる



人間性を豊かにする多彩な学びとの出会い

選択授業は、高等部の受験にとらわれない学びを象徴するカリキュラムです。2年生の必修選択授業は、探究型科目を中心としながらも、作品をとことん深く読み込む国語、テーマに沿って学ぶ社会科目、ディベートなど実践に特化した英語科目など、通常の授業とは異なるアプローチの科目を用意しています。3年生の選択授業ではより多彩な科目を開講しています。さまざまな学びとの出会いは、その先の人生を豊かなものとして、人間性の幅を広げてくれるでしょう。



多彩な科目

3年生の選択授業は、一般教科を深く追究するもの、実技・実習、第二言語、高校の科目にとらわれない学際的なものなど、幅広い選択肢から選択することができます。



企業連携

With The World等の企業と連携し、世界67か国の同世代とあらゆる社会課題について協働し、異文化理解や探究力を育む国際教育プログラムを展開。企業・行政・国際機関とも連携し、実社会と繋がるPBL型授業や海外研修を通じて、次世代のグローバルリーダー育成を目指しています。



充実した実技系科目

座学だけでなく、多彩な実技・実習も展開しています。感受性が豊かな高校生の時代の出会いは、この先の長い人生における視野や活動の幅を広げてくれるでしょう。



専門家連携

多くの実技系科目は、その分野の専門家に指導いただいています。技術面はもちろんのこと、高校の教員とは異なる視点や価値観に触れることで、自らの世界をも広げることができます。



高大連携

一定の条件下において、2、3年生で関西学院大学の授業を受講することができます。この授業は大学生と同じ環境・レベルで学びを深められるだけでなく、関西学院大学での単位として認定されます。

2年必修選択・3年選択科目(2026年度) ※探究系科目は2年、3年連続で受講します

2年	3年(開講科目の例)			
〈一般科目系〉 ●文学国語 ●現代社会 ●日本史 ●世界史 ●数学(アドバンスト・ベーシック) ●英語(アドバンスト・ベーシック) 〈探究系〉 ●AI活用 ●グローバルスタディ ●サイエンス探究 ●アート思考 ●福祉探究 ●エネルギー探究 ●ピーススタディ ●スポーツ探究 ●英語探究 ●情報モラル探究	〈研究科目系〉 ●文学講読 ●微積分学 ●心理学 ●ビジネス会計セミナー ●プログラミング講座 ●デジタルアート講座 ●命を考える ●ジェンダー・セクシュアリティを考える ●ピースメーカー入門	〈実技系〉 ●体育実技(ゴルフ/テニス/トレーニング/ダンス/ヨガ/エクササイズほか) ●美術実習(油絵/陶芸) ●音楽演習(声楽/器楽) ●書道 ●写真演習 ●舞台表現・芸術 ●アート×コミュニケーション探究 ●発達と保育 ●クッキング 〈学際講座系〉 ●アントレプレナーシップ講座 ●関西学院学 ●外交と国際関係 ●ウェルビーイング	〈語学系〉 ●ハイレベル英語資格講座 ●Speaking and Writing ●Creative English Lab ●ドイツ語 ●フランス語 ●中国語 ●韓国・朝鮮語 ●日本手話	〈探究系〉 ●AI活用・アドバンスト ●グローバルスタディ・アドバンスト ●サイエンス探究・アドバンスト ●アート思考・アドバンスト ●福祉探究・アドバンスト ●エネルギー探究・アドバンスト ●生活文化探究・アドバンスト ●教育探究・アドバンスト ●歴史探究・アドバンスト ●ツーリズム探究・アドバンスト

Reading & Research

— 読書科 —

興味関心に基づいて「問い」を深めていく

1976年に開設された関西学院独自の科目「読書」は、高等部における学びの核となる授業です。生徒一人ひとりが自らの興味関心に基づいて探究テーマを設定し、図書館の豊富な蔵書や多様な資料を活用しながら、「問い」を深めていきます。3年次には、学びの集大成として論文にまとめ、発表を行います。この学びのプロセスは、他教科の学習内容の理解をより深めるための「学び方」を培うとともに、各教科学習で得た知識や視点が読書科での探究に還元され、学びの相乗効果を生み出します。

1年生 文献や論文の探し方、読み方を学ぶ。

2年生 興味関心に応じたテーマを決めて、情報の収集と「問い」の変遷を繰り返す。

3年生 自らの主張を論証し、卒業論文を仕上げていく。



Inquiry-Based Learning

— 探究型科目 —

国内外の「なぜ」に自ら関わる

広い世界、そして身近な生活の中に課題は生じますが、自分の生活との関わりを意識しながら課題背景を深く知ること、自分の中に「問い」や「仮説」が生まれてきます。例えば「なぜこのような問題が起きるのか」「解決のためにできることやすべきことはあるのか」「この対立は、どうすればお互い納得できるのか」「この論文に書かれているものを応用できたら、新たな効果がみられるのではないかなどです。このような「問い」に対し、社会には実際に解決しようと活動されている方々がいらっしゃいます。その方々の取り組みを見学し、一部に触れることが、自らの学びの一部となります。そして、自らが実験・調査を通じて得た結果や自らの体験・経験が、社会をよりよくする可能性を広げることにつながります。興味関心のあるテーマについて、仲間と協働し、周りにいる人や社会に貢献できる力を身につけましょう。



読書科の特色ある学び

学びの原点は「好奇心」にあります。人は「なぜ?どうやって?」を繰り返すことで知識や技術、考え方を豊かにしてきました。ただし、「好奇心」だけでは探究の扉は開きません。関心の対象について多くの知識を備えることではじめて、自分なりの「問い」を持つことができるからです。読書科の授業には、さまざまな資料を通じて見聞を広める「しかけ」が散りばめられています。そして、そこから生じる「問い」を追究する過程で、社会を広く見渡し、独自の観点で分析する力を養います。



読書科×探究型科目

多くの先行研究や先行事例を学び、専門的な知識を蓄えることで、自分なりの観点で課題を発見することができるようになります。その課題の解決には文献やWEBでの情報収集も必須ですが、自らフィールドに出て調査することも有効です。情報センターである図書館での学びと、フィールドスタディでの学びが共鳴して、自分自身の課題を解決する糸口をつかむことができます。



読書科×英語

グローバル社会における平和や貧困、環境問題など国家や文化の壁を越えた包括的な社会問題の解決に向けて考察する場合、日本語に訳された資料だけではなく英語で記された一次資料に当たることが求められます。また、時には海外でのフィールド調査やインターネットを用いた現地の方へのインタビューも有効です。英語で書かれた資料や英語を使って得た情報を読み解き、知識や考え方を深める学びは、読書科での「問い」を見出し筋道立てて考察する取り組みを経ることで、世界に目を向けて社会を考察する姿勢を養います。さらに、それを英語で発表することが次の学びのモチベーションとなります。



読書科×高大連携

高等部図書館は関西学院大学図書館と連携し、資料貸出や閲覧コーナーの利用、他キャンパスからの資料の取り寄せなど高等部生の学びの広がり支援しています。読書科で設定する興味関心に応じた「問い」は多岐に渡り、より専門的な資料が必要になります。専門雑誌に掲載されている論文や、手に入りにくい貴重書などを紐解くことで新しい視野を身につけ、研究の展望が開けてくることもあります。高等部図書館は9万冊を超える蔵書を有しますが、大学図書館でさらに本格的な専門資料に当たることができる点は高大連携による大きなアドバンテージとなっています。

卒業論文 テーマ例

- ・「認知症2025年問題が解決されないのはなぜか」
- ・「今後の日本社会における義務教育を支えていくには」
- ・「日本人は雨にどのような感情を抱いてきたのか」
- ・「太宰治はキリスト教にどのような影響を受けたのか」

- ・「なぜ日本ではLGBTQについてカミングアウトをしづらいのか」
- ・「J-POPは世界に通用するのか」
- ・「日本人は米とどのように関わっていくべきか」
- ・「新幹線の成功と失敗」



グローバルスタディ

オンラインで海外の高校生と協働プロジェクトを実施

自分たちが関心を持つ国際的な社会問題について、授業中にオンラインで様々な国の高校生とディスカッションを重ね、その成果を1つの提言にまとめます。毎年、自分たちで企画・運営する国際会議でその成果を発表しており、高等部主催のフィリピンスタディツアーや海外研修とも連動しています。



福祉探究

誰もが生きやすい社会のあり方を模索

病院や福祉施設などの訪問や、座学、ディスカッションを通じて理想的な福祉のあり方を探究します。社会の中のさまざまなマイノリティに焦点をあてる中で、基本的人権が尊重された社会とは何か、について考察し、社会に提言することを目指します。



アート思考

自分の「感性」とさまざまなアート作品を通じて社会を多角的批判的に洞察

アートの歴史や作品の成り立ちを学び、美術館で本物の作品と向き合い、対話型鑑賞を経験することを通して、作者、作品、鑑賞者、そして、それらを取り巻く社会のさまざまな関係性を考察しています。アートを通して考え、自分の価値観を掘り起こします。自分自身の物事の捉え方が深まることで、現代社会の問題点などにも鋭く切り込んでいく探究力を養います。



AI活用

ヒトとAIテクノロジーが共生する世界を考察

関西学院大学工学部の教授の指導や学生をサポートを得てAIに触れたり、AI活用企業を訪れたりするなどして、AIとは何かを知るとともに、自分の関心のある課題に対してAIを用いた解決方法を考えます。生成AIのプロンプトエンジニアリングなども学ぶ中で、人間とAIの共生についても追究します。



サイエンス探究

科学的アプローチを通して森羅万象の仕組みを解明

生物学、物理学、化学等、自分の関心のあるサイエンス領域についての研究論文を読み、領域に関わる研究施設や川、山など自然界のフィールドを訪れて、自分自身の「なぜ」を科学的に深めます。さまざまな実験や観察などを通して自分の仮説を検証します。



スポーツ探究

生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指す

スポーツを単に「するもの」と捉えるだけでなく、健康、心身の成長、社会との関わりなど多面的に考えます。バイオメカニクスやスポーツ心理学の基礎を学んだ上で、動作解析アプリを用い、自分たちの運動のデータ収集から分析・改善を目指したプロジェクトに取り組みます。分析結果をもとにチームや個人へのフィードバックを行うなど、探究の成果を実際の活動に還元することを大切にしています。

「読書科での取り組みと探究型科目での相乗効果について」

探究型科目「ピーススタディ」受講者 2025年3月卒業 長島 孝太郎

私の場合、探究活動と読書科における論文作成では、全く同じテーマを扱いました。ただ、これらへの取り組み方は大きく異なり、探究活動においてはテーマの核心となる部分を掘り下げて扱い、論文作成ではテーマを俯瞰し、核心となる部分の周辺状況を含めた広範囲の内容について調査しました。探究活動はテーマを深掘りする都合上、どうしても扱わなかった他の観点についての調査がおろそかになりがちです。しかし、その部分を読書科の論文を作成する過程で得た知見によって補えたことが、読書科での取り組みと探究型科目の取り組みの相乗効果であったと感じます。





学友会 (生徒会)

高等部の生徒全員が加入する自治組織。自分たちの学校生活を自らで運営する、本校の「自由と自治」の精神を最も端的に表す存在です。10の委員会で構成され、学内行事の企画・運営ほか、学校生活に関わるあらゆる問題についての議論・議決を司ります。



Club Activities

— 生徒会活動 / クラブ活動 宗教部・文化部 —

クラブ活動を通して目指すのは、「人」としての成長



文化系クラブ一覧

[学友会直属]・サーブリーダーズ(チアリーダー) [宗教総部]・宗教部
[文化総部]

・E.S.S.	・コンピュータ部	・吹奏楽部	・美術部
・映画部	・社会部(クイズ班・茶道班)	・数理科学部	・理科部
・グリークラブ	・写真部	・図書部	

2025年度活動実績

【コンピュータ部】アプリ甲子園 決勝大会マイナビ賞

【写真部】兵庫県高等学校総合文化祭
写真部門 特選、入選

【吹奏楽部】兵庫県吹奏楽コンクール 銀賞

【美術部】兵庫県小中高校絵画展 入選／
兵庫県私学連合美術展 優秀賞／
尼崎市展 新人賞、入選

【理科部】日本学生科学賞兵庫県コンクール
県知事賞(最優秀賞)



Club Activities

— クラブ活動 運動部 —

「文武両道」を体现し、ともに汗を流した仲間は生涯の宝物

運動系クラブ一覧

- ・アメリカンフットボール部(男)
- ・剣道部(男・女)
- ・サッカー部(男)
- ・柔道部(男・女)
- ・水泳部(男・女)
- ・卓球部(男・女)
- ・ダンス部(男・女)
- ・テニス部(男・女)
- ・バスケットボール部(男・女)
- ・バレーボール部(男・女)
- ・野球部(男)
- ・ラグビー部(男)
- ・陸上競技部(男・女)
- ・ゴルフ部(個人登録のみ)

2025年度活動実績

【アメリカンフットボール部】全国選手権大会 ベスト16/関西選手権大会 ベスト8/県秋季大会 準優勝【剣道部】(男子)県総体 団体2位/近畿選抜大会 団体ベスト8(女子)県大会団体3位/阪神大会 団体準優勝, 個人準優勝【サッカー部】プリンスリーグ関西 2部6位/県選手権大会 ベスト8(5位)/県総体 ベスト8(5位)【柔道部】(男子)県新人戦 個人ベスト8/県総体 出場(女子)近畿新人大会 個人ベスト8/県新人戦 個人ベスト8【水泳部】全国総体 個人種目出場/国体 個人種目出場/全国JOC夏季大会, 春季大会 個人種目出場【卓球部】(男子)近畿大会 ダブルス2回戦進出/県総体 団体戦ベスト16, ダブルスベスト16(女子)県総体阪神予選 団体戦3位, シングルス・ダブルス5位/新人阪神予選 団体戦4位, ダブルス5位【ダンス部】DANCE STADIUM(日本高校ダンス部選手権)6位/全日本高等学校チームダンス選手権大会 出場/DANCE CLUB CHAMPIONSHIP(全国高等学校ダンス部選手権)4位【テニス部】(男子)全国選抜大会 ベスト32/全日本ジュニアテニス選手権大会 ダブルスベスト8(女子)関西ジュニアテニス選手権大会 シングルス出場/近畿高校テニス大会 シングルス出場【バスケットボール部】(男子)県総体4位/県新人大会4位/近畿大会 出場【バレーボール部】(男子)秋季阪神地区リーグ戦 3部優勝 2部昇格/県新人大会 出場(女子)春季阪神地区リーグ戦 3部優勝 2部昇格【野球部】夏選手権兵庫大会 ベスト8/春季地区大会 Eブロック優勝【ラグビー部】全国高校ラグビー大会 ベスト16/近畿大会 ベスト8/県総体 優勝【陸上競技部】U18陸上競技大会 男子個人種目5位/近畿ユース 男子個人種目優勝/県総体 男子個人種目優勝, 女子個人種目5位

Dialogue

— 対談 —

先輩から後輩へ託す、夢のバトン



探究活動を進化させる「継続」の力

- 西久保** 私たちは、「高齢者の孤立」というテーマで「福祉」を探究しています。先輩のグループの取り組みを先生から聞き、共通点が多いと感じていました。そのような時、松本さんに高齢者のための活動に誘っていただき、ぜひ私たちもお手伝いしたいと思いました。先輩の代は探究「福祉」が一年目だったと聞きましたが、どうでしたか？
- 松 本** 試行錯誤の連続でした。しかし、先生や外部団体の方々に支えていただき、高齢者向けイベント「スマホ相談会」の実施に至りました。継続的に開催することで高齢者が地域で人と関わる機会を増やせるのではないかと考え、計4回実施しました。
- 西久保** 先輩方のイベントをお手伝いさせていただいて、高齢者のニーズが見え、「実践」することの大切さがわかりました。また同時に、先輩の活動を引き継ぎ「継続」させる方法を模索するようになりました。
- 松 本** 探究は発表して終わりになりがちですが、地域で活動すると責任が生まれます。私も実践し、それを継続することの重要性を感じていたので、西久保さんたちが引き継いでくれて嬉しいです。
- 西久保** 先輩方が土台を築いてくれたおかげで、経験に基づいて次の目標を設定することができました。今、私たちは、今後の活動に向けた情報収集のために、他校の高校生と意見交換ができる場を設けようと動いています。この取り組みを後輩たちにもバトンとして渡せるよう、卒業までに形にします。
- 松 本** 素晴らしいですね。私たちから始まった活動が後輩たちによって発展していることを頼もしく感じます。探究を実践することで生まれた学びやつながりが、これからも受け継がれていくことを楽しみにしています。



チーム一丸で挑む、憧れの聖地「花園」

- 寺 北** 自らお手本となり、個性的な学年をうまくまとめていますね。率先して努力する鈴木くんの姿に刺激されたのでしょうか。部員のやる気がアップし、チーム全体の士気も高まりました。後輩ながら学ぶことが多いです。
- 鈴 木** 大きな怪我で2年生の半年間、プレーできない時期がありました。だからこそ、ラグビーができることに強い喜びを感じるのかもしれません。主将の私が一番努力しないと、チームは上に伸びないとも思っています。
- 寺 北** 怪我の時もよく頑張っていたよね。練習に参加できない中でチームを牽引するのは、本当に大変だったと思います。誰よりウエイトトレーニングをして、チームの見本であり続けてくれました。皆が認める「主将」です。
- 鈴 木** あの時はコーチの励ましに支えられました。どんなに小さなことも、最も近い理解者であるコーチに相談できることがありがたいです。アドバイスをもとに自分の考えを整理することで、先生ともより深い話ができています。
- 寺 北** 私たちの代は、高校3年間で一度も花園に行けませんでした。当時の悔しさがコーチとしての原動力です。規律を重んじ努力を継続できる今のチームなら、私たちが届かなかった聖地に今年も行けると確信しています。一緒に頑張りましょう。
- 鈴 木** ラグビーを一生懸命やるのは当たり前、挨拶や礼儀も含め、周りの方々に応援してもらえる集団でありたいと考えています。今後もチームの目標である「紳士礼節」を体現し、2年連続の花園出場を実現します！

Graduates

— 卒業生 —

高等部での経験は大きな財産となり未来の自分を支える

「自由」に鍛えられた3年間

地元の公立中学から高等部に入った際、そのギャップに驚きました。こんなに自由だったら自分がダメになってしまうと不安になったことを覚えています。しかし、その自由は私を鍛えてくれました。例えば、学友会活動。当時問題になっていたある病氣に対する差別についてアピールする活動をしました。いま振り返るとリスクもあったろうと思いますがそれを自由にやらせてくれた先生方にいまさら感謝です。生徒に自由を体験させて、失敗しても大丈夫な環境をつくってくれていたのです。

高等部の3年間でしっかり自由を練習した私は大学に入るところには授業も課外活動も就職先も自分で選べるようになっていました。正解だったかは置いておいて、自分で選んで、良いリターンも、悪いリターンも自分で負う。たとえばわりから「みんなと違うけど大丈夫なの？」といわれたとしても気にしない。高等部は、大学受験のためだけの勉強ではなく自由に怯えず、聖書を支えにすることで世間に囚われず、自分で選んで生きていくための勉強ができる学校なのです。

クリエイティブディレクター 鈴木 契さん 1995年3月卒業



「面白い!」をとことん追求できる学舎

高等部の校風である「自由」。それは自分と真摯に向き合い、「面白い」を突き詰められることだと思います。

私は海外の講師・生徒と交流できるGLP*に参加していました。その中でもインドネシアの高校生をホームステイで受け入れた経験が強く印象に残っています。英語力を身につけようと臨んだホストファミリーでしたが、交流する中で、急成長するインドネシア経済や同学年ながら意欲の高い生徒を目の当たりにし、焦燥感を覚えるようになりました。そして先生方から機会をいただき、世界経済を学ぶ大学連携授業に参加。卒業論文では国際連合の役割について追究し、3年間を通してグローバルな視点から日本の在り方を考えることができました。現在、私はメガバンクで世界市場で躍進する日本企業を財務面から支える仕事に携わっています。高等部で感じた「停滞する日本経済を変えたい」という思いが、今の私につながっているのだと思います。高等部では日々の授業や課外活動に「面白い」ことが溢れています。同時に、それをどこまでも追求できる「自由」があります。皆さんが高等部で自分と真っ直ぐに向き合い、自由に羽ばたくことを楽しみにしています。

*「グローバルリーダープログラム」探究型科目の前身

株式会社三菱UFJ銀行 総合職（大企業担当アソシエイト） 千葉原 薫さん 2020年3月卒業

「自由」から生み出される「熱」

「ここにKGボーイが集うのか」と、クリーム色の外壁・赤い瓦屋根を前に、心弾んだ日のことを覚えています。憧れていた校舎には、自由な校風を体現する熱く向上心溢れる生徒がいました。高等部での自由とは、怠惰ではなく、何かに挑戦できる自由だと思います。さまざまなことに挑戦できる環境で、私は総勢約150人の野球部に入り甲子園を目指しました。

しかし、西宮にある甲子園は近くて遠く、ましてベンチにすら入れない選手でした。ですが、「ベンチにすら入れなかった高校3年間」が今、糧になっています。試合で結果を出せず、逃避することもありましたが、文武ともに研鑽するチームメイトがいたおかげで前を向けました。困難なことほど、立ち向かい挑戦する人間に成長したように思います。努力は報われないこともあります。無駄にはなりません。生放送で思うようにいかなくても、再び声を張るのは、間違いなく高等部での生活・友との出会いがあったからです。皆さんが、「夢中になれること」・「熱量ある友」に巡り合えることを祈っています。

株式会社TBSテレビ アナウンサー 古田 敬郷さん 2018年3月卒業

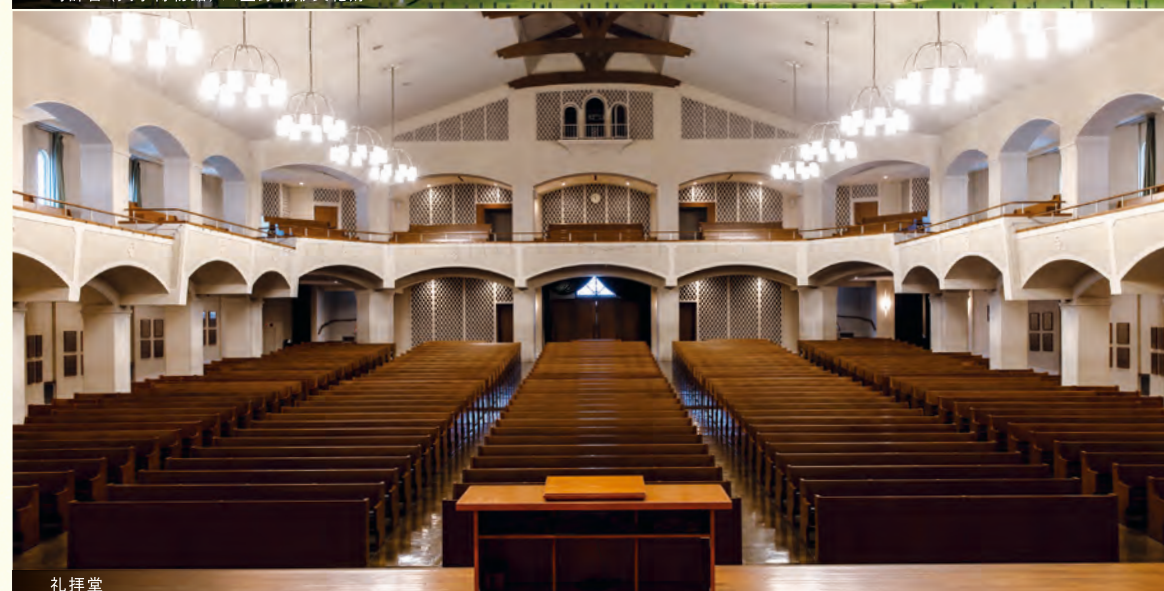


Facilities

施設



時計台（大学博物館）※登録有形文化財



礼拝堂



高中部プール



図書館



体育館



情報メディア教室



グラウンド



和室

Campus Map

関西学院/西宮上ヶ原



高等部エリア



2024年度より 食堂がリニューアル

選べる定食
主菜と副菜が
選べます。



ミートスパゲッティ
教室でも食べられます。

School Uniform 制服



冬服

スラックス
※選択できます

夏服



ネクタイ・リボン
エンブレム

KWANSEI GAKUIN
familiar



関西学院高等部
オリジナルレッスンバッグ

School Life

学校生活

4月	・新入生オリエンテーション ・入学式 ・クラブ紹介 ・実力テスト ・イースター礼拝 ・子ども会
5月	・学友会企画 ・健康診断 ・避難訓練 ・宗教週間の特別礼拝（春季宗教運動） ・中間試験
6月	・県高校総体 ・学友会総会 ・進路学習（3年） ・学年校外行事（2,3年） ・学年宿泊行事（1年）
7月	・期末試験 ・芸術鑑賞会 ・関西学院大学模擬講義
8月	・海外英語研修旅行（希望者）
9月	・創立記念礼拝
10月	・中間試験 ・宗教週間の特別礼拝（秋季宗教運動） ・キリスト教音楽コンサート ・スポーツフェスティバル
11月	・文化祭 ・芸術鑑賞会 ・アドベント礼拝
12月	・期末試験 ・クリスマス礼拝
1月	・関西学院大学院内推薦入試 ・進路学習（2年） ・学友会総会
2月	・入学試験 ・卒業記念礼拝 ・卒業式
3月	・学年末試験 ・修学旅行（2年） ・進路学習（1年）

※2026年度の行事予定です



Schedule

スケジュール

登校



8:30 1・2 時間目



10:20 チャペルアワー



10:55 3・4 時間目



10:55 3・4 時間目



10:55 3・4 時間目



10:55 3・4 時間目



12:35 昼休み



13:20 5・6 時間目



15:10 7 時間目（月曜日のみ）



15:00/15:55 放課後



Daily Schedule 1日のスケジュール

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:10～8:20			早朝祈禱会（自由参加）			
8:30～9:15	1時間目	授業				
9:25～10:10	2時間目	授業				
10:20～10:45	チャペルアワー	全校礼拝	アッセンブリー （生徒集会）	学年礼拝 人権プログラム	学年礼拝 人権プログラム	学年礼拝 人権プログラム
10:55～11:40	3時間目	授業	ホームルーム	授業		
11:50～12:35	4時間目	授業				
		昼休み				
13:20～14:05	5時間目	授業				
14:15～15:00	6時間目	授業				
15:10～15:55	7時間目	授業				

※平日の下课時刻は原則19時。ただし、大会前などには延長を認めています。 ※土曜日は授業を行いません。

関西学院大学案内
「空の翼」はこちら

関西学院大学での学びに向けて

高校時代に最も大切なことのひとつは、自分の将来や進路に向けて「自覚」を持つということです。勉強も、クラブ活動も、そこにはいろいろな「出会い」や「経験」があります。そして、その中で自分自身を見つめることが、未来に向かうための自信となり、エネルギーになるのです。大学進学だけを目標とするのではなく、その先の将来への目的意識を持ちながら、勉学はもちろん何事にも積極的に取り組めるように、自ら「学ぶ力」、人生を「生きる力」につながる進路指導を行っています。

進学について（過去2年の進学状況）

学 部	学 科	専 修 コース	推 薦 数	
			2025 年度	2026 年度
神学部		キリスト教伝道者コース	2	0
		キリスト教思想・文化コース	0	0
文学部	文化歴史学科	哲学倫理学専修	0	0
		美学芸術学専修	4	4
		地理学地域文化学専修	3	2
		日本史学専修	0	0
		アジア史学専修	0	0
		西洋史学専修	3	2
	総合心理科学科	心理科学専修	3	1
		文学言語学科	日本文学日本語学専修	1
	英米文学英語学専修		3	5
	フランス文学フランス語学専修		0	1
	ドイツ文学ドイツ語学専修		1	2
社会学部	社会学科		50	50
法学部	法律学科		36	32
	政治学科		10	2
経済学部			70	70
商学部			75	75
人間福祉学部	社会福祉学科		10	10
	社会起業学科		7	7
	人間科学科		8	8
国際学部	国際学科		21	24
教育学部	教育学科	幼児教育学コース	5	2
		初等教育学コース	5	6
		教育科学コース	1	5
総合政策学部			8	5
理学部	数理科学科		3	0
	物理・宇宙学科		0	1
	化学科		1	1
工学部	物質工学課程		1	0
	電気電子応用工学課程		3	2
	情報工学課程		8	8
	知能・機械工学課程		6	4
生命環境学部	生物科学科		1	0
	生命医科学科		3	1
	環境応用化学科		0	1
建築学部	建築学科		9	10



西宮上ヶ原キャンパス



神戸三田キャンパス

関西学院大学
推薦のための条件

1. 高校卒業条件を満たすこと
2. 総点平均60点以上であること
(3年間および3年次の成績の
総点平均が60点以上であること)
3. 外部英語テストの成績が
基準点に達していること
4. 読書科の単位を取得し、
卒業論文を提出すること
5. 聖書科の単位を取得すること
6. 自己推薦書を提出すること
7. 推薦に値する生活態度であること

※一貫教育の理念を尊重するため、
関西学院大学への推薦権を残したまま
他大学を受験することはできません。

関西学院大学推薦入学率

90%以上
(2026年度進学実績)

他大学進学実績
(2026年度実績)

京都大学 大阪大学 神戸大学
兵庫医科大学 神戸薬科大学
国際基督教大学 慶應義塾大学 ほか

K.G. ツバサ
Collection

関西学院大学の
多様で自由な学生生活の
情報が満載！



関西学院大学の特色ある学び

主専攻（学部・学科）の学びに加え次代を切り拓くために必要な力を養う学びを推進

関西学院大学は時代の変化や社会の要請に応え、その教育を進化させてきました。主専攻（学部・学科）の学びに加え、独自の教育プログラムを用意して、学生一人ひとりの未来に向けた学びを推進しています。

主専攻（学部・学科）の学び



特色あるプログラム

AI活用人材育成プログラム

関西学院大学と日本IBMが共同開発した「AI活用人材育成プログラム」。必要とされるAI活用人材（AIやデータサイエンス関連の知識を持ち、それらを活用して現実の社会課題やビジネス課題を解決できる人材）を育成します。



副専攻プログラム／他学部履修

幅広い観点から社会的課題への解決策を導きだす力を養うために、最短4年で2つの学位が取得可能なマルチプル・ディグリー制度や、複数分野専攻制などの多くの学びの機会があります。



アントレプレナー育成プログラム

新たなビジネスを創造する力を育むアントレプレナー育成プログラム。理系・文系関係なく起業に必要な知識やスキルとして経営学・知的財産・AIなどを学びます。プログラムでは、実際に事業を立ち上げて収益を上げることまでめざします。



学内国際交流

関西学院大学では、1,400名以上の留学生がともに学び、キャンパスにいながら国際交流ができる環境が整っています。留学生とともに学ぶ科目や正課外での交流制度が充実しています。



言語教育

効果的な英語学習ができる「英語インテンシブ・プログラム」のほか、学術論文を読んだり、研究成果を発表するために必要な「理系のための英語」など、世界11の言語と日本語が履修できます。



海外研修・留学プログラム

多様で独自の留学プログラムを完備するとともに、留学希望者向けの奨学金制度などの支援も充実しています。近年は海外協定大学への派遣者数が全国1位になるほど留学しやすい環境が整っています。



全学科目

これからの社会に必要なAI・ICTスキルを修得したり、普遍的な学びである平和や人権についての考察を深めたり、教養を深め、将来に生かせる科目を提供しています。



ハンズオン・ラーニング・プログラム

本プログラムは、国内で唯一、関西学院大学が提供する教育プログラムです。現代社会に必要な「問い」を設定し、考え、行動するというもの。地域・団体と連携し多数のプロジェクトを提供しています。



国連・国際機関等へのゲートウェイ

国連・国際機関と連携し、学部生対象のプログラムと大学院生向けの総合政策研究科国連システム政策専攻[※]および大学院副専攻プログラムを設定し、実践的なカリキュラムを提供しています。

※2025年4月大学院総合政策研究科 国連システム政策専攻（修士課程）開設



新月池

Admission

2027年度入学試験要項

A方式入学試験（一般入学試験）

出願資格

以下の1. 2. いずれかに該当する者。
1. 2027年3月31日までに中学校またはこれに準ずる学校を卒業見込みの者。
2. 2026年6月から2027年6月の間に、外国の学校教育における9学年の課程を修了した者（ただし、すでに日本の高等学校に転編入学した者は受験できない）、あるいは修了見込みの者（ただし、合格し、入学を希望する場合は2027年4月に本校に入学すること）。

志願種別（※専願・併願）に応じて、選考基準に差を設けます。
※専願の志願者には、学力試験時の試験点数に30点加算します。

インターネット出願期間

2027年1月6日(水)～1月16日(土)

入学検定料納入期間

2027年1月6日(水)～1月16日(土) ※クレジットカードコンビニ・ペイジー決済等

郵送提出する出願書類および提出期限

【出願書類】
1. 写真票
2. 志望理由および中学校での活動報告書（自筆）
3. 調査書（本校所定の様式・学校長が証明し、厳封したもの）
※2、3は本校ホームページに掲載します。
【提出期限】
2027年1月19日(火) 必着
※書留またはレターパックプラスでの出願に限りです。

試験日・時間割

試験日	科目	時間	配点
2月10日(水)	国語	8:50～9:50(60分)	100
	数学	10:10～11:10(60分)	100
	英語	11:35～12:45(70分) リスニングテスト約10分を含む	120
	昼食	12:45～13:30(45分)	-
	面接	13:40～	-

※面接は受験生のみ。

合格発表

2027年2月12日(金) 18:00 可否照会サイトにて合格発表を行います。
※合格者にのみ合格通知書および入学手続書類を郵送します。

海外帰国生徒入学試験

出願資格

以下の1. から4. すべてに該当する者。
1. 日本国籍を有する者、あるいは日本に永住する外国人（在留資格が出入国管理および難民認定法に定める「永住者」）。
2. 本校を専願とする者。
3. 海外に在住している者、または在住していた者で、次のいずれかに該当する者。
①保護者とともに継続して海外在住3年以上で、2026年3月1日以降に帰国の者。
②保護者とともに継続して海外在住2年以上で、2026年7月1日以降に帰国の者。
4. 2012年4月1日以前に生まれた者で、次のいずれかに該当する者。
①2026年6月から2027年6月の間に、外国の学校教育における9学年の課程を修了した者（ただし、すでに日本の高等学校に転編入学した者は受験できない）、あるいは修了見込みの者（ただし、合格した場合は2027年4月に本校に入学すること）。
②文部科学大臣の指定を受けた海外の全日制日本人学校中等部を2027年3月31日までに卒業見込みの者。
③帰国後、国内の中学校を2027年3月31日までに卒業見込みの者。

※2年以上、3年以上の海外在住とは、出国日から帰国日までの期間とします。
試験日にまだ海外在住の場合は、2027年3月31日を基準として計算します。
※出願資格について、不明な点があれば本校入試・広報部まで直接問い合わせてください。

インターネット出願期間

2027年1月6日(水)～1月16日(土)

入学検定料納入期間

2027年1月6日(水)～1月16日(土) ※クレジットカードコンビニ・ペイジー決済等

郵送提出する出願書類および提出期限

【出願書類】
1. 写真票
2. 志望理由および中学校での活動報告書（自筆）
3. 志願者調査票（自筆）
4. 海外在留証明書（企業等が発行したもの）
5. 海外在学中の成績証明書（帰国後に国内の中学校に在籍する者は国内の中学校の調査書も提出）
※2～4は本校ホームページに掲載します。
【提出期限】
2027年1月19日(火) 必着
※書留またはレターパックプラスでの出願に限りです。

試験日・時間割

試験日	科目	時間	配点
2月10日(水)	国語	8:50～9:50(60分)	100
	数学	10:10～11:10(60分)	100
	英語	11:35～12:45(70分) リスニングテスト約10分を含む	120
	昼食	12:45～13:30(45分)	-
	面接	13:40～	-

※面接は保護者同伴。

合格発表

2027年2月12日(金) 18:00 可否照会サイトにて合格発表を行います。
※合格者にのみ合格通知書および入学手続書類を郵送します。

募集人員	普通科第1学年 ・A方式入学試験（一般入学試験） 男女約100名（海外帰国生徒若干名を含む） ・B方式入学試験（自己推薦入学試験） 男女約20名	入学検定料	20,000円（A方式・海外帰国生徒・B方式入学試験） ※A方式・B方式入学試験の重複出願は可能です。 ※A方式・B方式入学試験両方に出願された方で、A方式入学試験合格者には後日、B方式入学試験の検定料を返還します。	試験会場	本校
※各入学試験の専願とは、本校合格の場合、必ず入学するという意志を示しておられることをさします。					

B方式入学試験（自己推薦入学試験）

出願資格

以下の1. から4. すべてに該当する者。
1. 2027年3月31日までに中学校を卒業見込みの者。
2. 本校を専願とする者。
3. 中学校時代の成績について、以下の基準のいずれかを満たしている者。
（5段階評定の場合）
中学第3学年2学期末の3年次総合成績において、9教科5段階評定の合計が36以上の者。
（10段階評定の場合）
中学第3学年2学期末の3年次総合成績において、9教科10段階評定の合計が68以上の者。
4. 中学第1学年から第3学年までの成績評定を記載した調査書を提出できる者。
B方式入学試験は中学校3年間の成績、課外活動等の実績、試験当日の作文および面接によって、総合的に合否判定をします。
●次の①・②の項目は、判定に際し評価をする内容です。
①生徒会活動やボランティア活動等、学校や地域で諸活動をおこない、学業との両立に積極的に取り組んだ者。
②文化・芸術・スポーツ・資格取得など自ら興味の対象を持ち、それに打ち込み、学業との両立に積極的に取り組んだ者。
（各種コンクール、展覧会、発表会、スポーツの大会、資格試験などの実績を証明する書類のコピーを添付してください。）

※高等学校を併設している私立中学校、海外の諸学校、インターナショナルスクールからは受験できません。
なお、現在、国・公立中学校に在籍中で、中学1年～3年の間に高等学校を併設している私立中学校、海外の諸学校、インターナショナルスクールに在籍期間がある方は、現在在籍する中学校経由で本校入試・広報部に必ずご相談ください。また、海外の高等学校からの転編入学はできません。
※海外帰国生徒入学試験に出願した場合は、B方式入学試験（自己推薦入学試験）への出願はできません。

出願書類の配布

出願には成績基準等の出願資格を満たしている必要がありますので、在籍する中学校の先生を通じて出願書類の準備をしてください。

インターネット出願期間

2027年1月6日(水)～1月16日(土)

入学検定料納入期間

2027年1月6日(水)～1月16日(土) ※クレジットカードコンビニ・ペイジー決済等

郵送提出する出願書類および提出期限

【出願書類】
1. 写真票
2. 志望理由および中学校での活動報告書（自筆）
3. 調査書（本校所定の様式・学校長が証明し、厳封したもの）
※A方式入学試験との重複出願の場合は不要です。
4. 活動や資格を証明する資料（コピー）貼付用紙
5. 自己推薦書（自筆）
※2～5は各中学校にご案内します。
【提出期限】
2027年1月19日(火) 必着
※書留またはレターパックプラスでの出願に限りです。

試験日・時間割

試験日	科目	時間
2月18日(木)	作文(500字程度)	10:40～11:30(50分)
	昼食	11:30～12:30(60分)
	面接	12:40～

※面接は受験生のみ。

合格発表

2027年2月19日(金) 10:00 可否照会サイトにて合格発表を行います。
※合格者にのみ合格通知書および入学手続書類を郵送します。

入学生の学費・その他の諸費

初年度納入金（2027年度入学生・予定）

入学手続Ⅰ（入学申込金または入学金）	200,000
入学手続Ⅱ（授業料・その他の諸費※）	484,000
初年度2学期納入金（納入期限 9月29日）	352,400
初年度3学期納入金（納入期限 12月22日）	352,400
初年度納入金合計	1,388,800 （※その他の諸費273,800円を含みます）

※iPad[®]および関連費用を含む。（単位:円）

3年間の学費（2027年度入学生）

	第1学年	第2学年	第3学年
入学金	200,000	—	—
授業料	915,000	915,000	915,000
学費合計 [※]	1,115,000	915,000	915,000

※上記学費に加え、その他の諸費を毎年納入していただきます。（単位:円）

奨学金制度

関西学院高等部では、希望をもって学業に励み、将来、社会に貢献する人材として大きく成長することを願って、国の就学支援金*を受けても授業料の負担が困難な生徒を対象に、関西学院独自の奨学金制度を設け、修学が継続できるようにしています。奨学金には支給（返還義務のないもの）と貸与（返還義務のあるもの）とがあり、金額もそれぞれ異なります。

種 類	金 額
関西学院高中支給奨学金	授業料（年額）から国の就学支援金*（年額）を差し引いた額の2分の1
関西学院高中貸与奨学金	授業料（年額）から国の就学支援金*（年額）を差し引いた額の2分の1又は3分の1又は4分の1

※高等学校等就学支援金制度。高校等に通う生徒の授業料の一部または全部を支援する国の制度で、所得に関わらず年額457,200円が支給されます。返済不要で原則学費との相殺で支給されます（2026年度実績）。

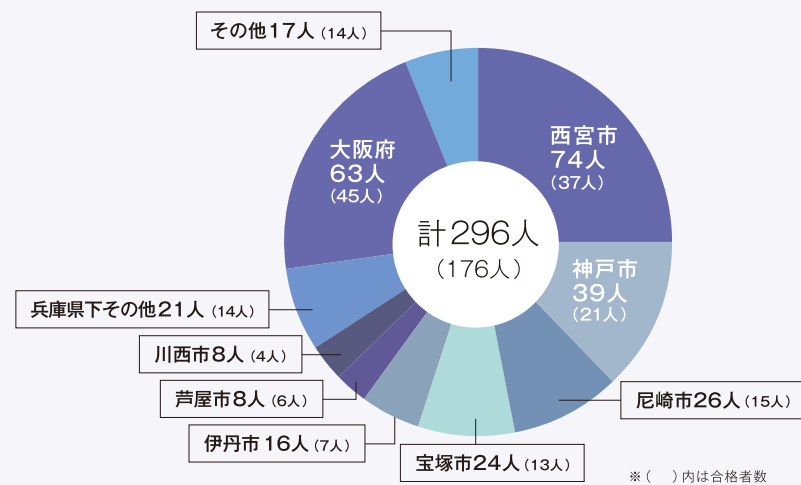
Information

— 入試情報 —

■入試DATA

入 試 状 況												
	2025 年度						2026 年度					
	A方式（一般入試）		海外帰国生徒入試		B方式（自己推薦入試）		A方式（一般入試）		海外帰国生徒入試		B方式（自己推薦入試）	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
募集人数	約100名		若干名		約20名		約100名		若干名		約20名	
出願者数	126	57	2	2	28	18	140	89	1	1	35	30
受験者数	123	57	2	2	27	18	140	87	1	1	34	28
合格者数	83	39	1	1	23	13	95	44	1	1	22	13
競争率	1.5	1.5	2.0	2.0	1.2	1.4	1.5	2.0	1.0	1.0	1.5	2.2
入学者数	78	37	1	1	23	13	89	44	1	1	22	13

■地域別志願者 (2026年度)



■入試について

Q1 男女比はどうなっていますか？

A1 男女比は、概ね5：3で構成しています。入試もこれを前提としており、募集定員はA・B方式入試をあわせて男子75名、女子45名程度としています。

Q2 A方式入試においては、調査書（内申書）はどの程度影響するのですか？ また調査書の内容は何を見るのですか？

A2 本校のA方式入試では、当日実施する3教科の試験成績を軸にしつつも、中学校での学校生活全般への取り組みの姿勢がわかる調査書の内容も加えて、総合的に合否判定をしています。9教科の成績、特別活動（生徒会活動、クラブ活動）など、調査書に記載された項目をくまなく見て、中学校生活にどのように取り組まれたかを総合的に確認させていただきます。

Q3 A方式入試とB方式入試の違いはどこですか？

A3 A方式入試は当日実施する3教科の試験成績を軸としつつ調査書と面接の内容も加えて総合的に合否判定をします。それに対し、B方式入試では学力試験を行いませんので、調査書の成績評定を学力評価に代え、その他の調査書の内容、当日の作文や面接の評価を加えて合否判定をしています。A方式入試は当日の学力試験重視、B方式入試は中学校での3年間の成績・業績重視といえます。

Q4 A方式入試で専願、併願の有利不利はありますか？

A4 専願の志願者には、国語・数学・英語の合計点に30点の加点を行い合否を判定します。したがって、専願が有利となる受験となります。なお、B方式入試は出願資格を専願に限らせていただいております。専願とは、本校合格の場合、必ず入学するという意志を示しておられることをさします。

Q5 A方式入試とB方式入試の重複出願はできますか？

A5 A方式入試とB方式入試の重複出願は可能ですが、出願は同時期になっていますので、あらかじめA方式入試とB方式入試の両方に出願していただく必要があります。A方式入試で合格された場合は、B方式入試の受験は必要ありませんので、B方式入試の入学検定料は返還いたします。A方式入試とB方式入試は完全に切り離して行います。A方式入試の結果はB方式入試には全く関係しません。

Q6 面接の内容について教えてください。

A6 A方式入試・B方式入試ともに個人面接で、A方式入試は教員2名、B方式入試は教員3名で行います。主な質問内容は、志望理由や中学校生活での学び、高校生活への意気込みなどについてです。時間は、A方式入試が5分間程度、B方式入試は15分間程度です。B方式入試は、当日の作文の内容も参考にしながらの面接となりますので、より深い内容についてお聞きすることになります。

Message

— メッセージ —



「輝く自由」に出会う

「輝く自由」、関西学院校歌『空の翼』の一節です。関西学院高等部には「輝く自由」があります。あらゆる垣根を越え、何ものにも縛られることのない自由ほど素晴らしいものはありません。その自由の中でこそ、自分自身を鍛えることができます。そして、その自分自身からも自由になって、そこで得た力を他者の幸福に用いるとき、皆さん自身が輝くでしょう。「輝く自由」、ぜひ関西学院高等部で出会ってください。

関西学院長 中道 基夫



「自由と自治」から育まれる豊かな人格

キリスト教を通して、他者に、世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心や真摯な態度を備えた人格を培うことを目標として、「自由と自治」を重んじて歩んできた高等部。人生において最も多感な時期に、関西学院大学への推薦制度に支えられて、自分の可能性をどこまでも追求できるのが本校の魅力です。自分の興味関心に合わせたさまざまなチャレンジができる環境がここにはあります。建学の精神“Mastery for Service (奉仕のための練達)”を実践する「世界市民」になることをこの関西学院高等部でともに目指しましょう。

関西学院高等部長 枝川 豊



関西学院について

1889年、創立者ランバス宣教師により、わずか教員5名・生徒19名で産声をあげた本学院。

ランバスが貫いた「真の世界市民として世界万民のために献身する」生き方は、

第4代院長ベーツにより、スクールモットー“Mastery for Service (奉仕のための練達)”として明文化され、

国際性、自由と自治の精神、そして本学院で学ぶ意義の礎となり、約130年の時を経て総合学園となった今も、

揺らぐことのない魂として、教職員・生徒たちの中に流れ続けています。